

望ましい特別枠の形、検討を要する事項の確認

1 望ましい特別枠の形

- ① 千代田区が目指す子どもたちの姿に、九段中等教育学校が先頭に立って育成に寄与できる特別枠
- ② 千代田区と九段中等教育学校がもつ教育資源をフルに活用し、九段中等教育学校の魅力や強みが対外的にアピールできる特別枠
- ③ 多様性を確保し、各自の能力を活かしつつ、他の生徒たちにも好影響を与える特別枠
- ④ 九段中等教育学校が求める、興味・関心を持ってチャレンジする子どもたちに出願してもらえる特別枠

2 検討を要する事項

① 導入目的

千代田区と九段中等教育学校がどのようなビジョンの下、特別枠を導入することで、どのような子どもを受入れ、どのような人づくりを目指していくのか。

② 対象者

出願に際して、居住要件などを設定していくのか。

③ 選抜基準・定員

探究心、チャレンジ意欲、リーダーシップ、実技、実績等をどう評価していくのか。

グローバル、DX・IT、英語、サイエンス、スポーツ、文化・芸術等、どのような分野の特別枠とし、定員を何名とするのか。

④ 選抜方法

適性検査、作文、実技、人物評価、実績考査等、どのような組み合わせで評価するのか。

⑤ 「入学後」の教育課程・サポート体制等

入学後の生徒を、どのような教育課程で育成していくのか。特別枠生徒を対象としたカリキュラムやサポート体制等を構築するのか。

⑥ 特別枠の導入に向けた環境整備

ハード面：導入する特別枠の分野・種目に応じ、現有の設備で対応が可能なのか。もしくは、新たな施設整備が必要な場合、対応が可能なのか。

ソフト面：特別枠生徒の育成やサポートは、現有の人材で対応が可能なのか。もしくは、新たな人材の確保が必要な場合、対応が可能なのか。